

まごすけ
桑山孫助（郡奉行）

またぎえもん
桑山又左衛門（養子 首席家老） — みつえ
満江（妻） / はやた
上村隼太

ちゅうじろう
忠次郎（息子 近習組）、きくい
菊井（娘）、かね
加音（義母）

とうぞう
青木藤蔵（家士 青木弥助の息子）、ちよ（女中）、とも（女中）

じんべい
甚平（下男）、ともきち
友吉（甚平の息子）

さんごろう
小田三五郎（配下）、ひこさく
高野彦作（手代）

しちべえ
鎌田七兵衛（奉行助役）

かみむらちゅうざえもん
上村忠左衛門（隼太の兄 寺社方役人） — のふ
乃布（妻）、新太郎（息子）

ふき（女中→村松→ざくろ屋→卯の花の女将）、かろく
嘉六（下男）

いちのじょう
野瀬市之丞（又左衛門の友）、

みつやそうろく
三矢庄六 / 藤井庄六（山役人） — いくえ
幾江（妻）、しんご
信吾（息子）

いちぞう
寺田一蔵 / 宮坂一蔵（脱藩） — るい
類（妻 宮坂家の娘）

たつのすけ
丹羽佐平治（奏者番 類の浮気相手）、辻辰之助（類の最初の夫）

かたがい
片貝十左衛門（道場主）

はがきちゅうろう
羽賀吉十郎（師範代）、またいち
中根又市（次席）、じんごろう
平井甚五郎（次席）

もくない
神尾奎内（元締め）

はねだや
羽太屋重兵衛（廻船問屋）、まんねん
伊藤万年（息子）

けんしち
兼七（番頭）、伊作（手代）

ひこさぶろう
西島彦三郎（造り酒問屋）

はりまや
播磨屋（呉服屋）

なかみちすけのじょう
中道助之丞（江戸留守居役→塾頭）

とくえい
徳栄（光明院の住職）

せいえもん
政右衛門（古畑村肝煎）、よのすけ
与之介（百姓）

そうべえ
住吉屋宗兵衛（商人）

うきょうだいぶただみつ
右京太夫忠盈（藩主）

きざえもん
牧原喜左衛門（用人）

やいち えもん
安藤弥一右衛門（小姓頭）

こたになおき
小谷直記（無役 藩主家の一族）

はらぐちたみや
原口民也（無役 藩主家の一族）

しかのすけ
杉山鹿之助（筆頭家老） / 杉山忠兵衛 一 榎岡千加（妻 榎岡図書の娘）

せつあん げんぼ
杉山忠兵衛（父） / 雪庵、関口玄蕃（長老）

しんさく ゆうじろう
松崎新作、駒井雄次郎

ひょうご
小見山兵庫（筆頭家老）

ごんじゅうろう またしろう
金井権十郎（家老）、又四郎（息子）

たけべえ
小黒武兵衛（次席家老）

かつさぶろう せいだゆう たけべえ
勝三郎（息子）、清太夫（武兵衛の弟）

やまぎしへいすけ
山岸兵助（家士）、遠藤作之進（家士）

くらんど
多田蔵人（次席家老）

ようすけ
佐治庸助（組頭→中老→家老）

じんのじょう
和田甚之丞（番頭→中老）

いおり
松波伊織（中老）

きち えもん
長谷川吉右衛門（中老）

またしろう
金井又四郎（中老）

よしちろう
内藤与七郎（中老→藩校総監）

くらた
山内蔵太（組頭→中老）

はんざ えもん
高瀬半左衛門（中老）

かげゆ
堀田勘解由（大目付）

けんしろう
奥山権四郎（大目付）

じんしろう
浅井甚四郎（徒目付）

すがや きちべえ
菅谷吉兵衛（徒目付）

たつや
岩村達弥（書院目付）

そうぞう
小川宗蔵（足軽目付→御使番）

もくない
神尾柰内（元締）

横山源兵衛 (江戸留守居役)

白井徳兵衛 (郡代)

田中半平 (郡代)

山内奥太夫 (郡代)

山根茂太夫 (郡奉行)

花岡郷助 (郡奉行)

筒井右京 (阿蘭陀流町見家)

田口友軒 (阿蘭陀流町見術)、田口半平 (息子)

森田長作 (町見家)

稲葉平右衛門 (町見家)

清水三郎右衛門 (御列卒頭)、善八 (次男)

榎岡図書 (組頭)、千加 (娘)、外記 (養子 中老)

堀田衛夫 (組頭)

石川弥太夫 (組頭)

山内蔵太 (組頭)

小田切仁兵衛 (物頭)、邦尾 (娘)

山崎作之進 (馬廻り役)